

# 一般会計3.7%増の647億円

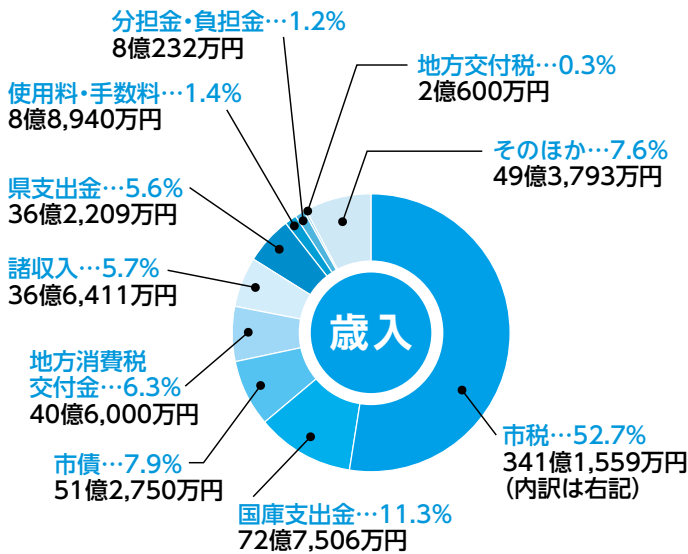
令和5年度予算案が3月定例会市議会で可決されました。今回は、予算の概要や主な使い道などについてお知らせします(1万円未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない箇所があります)。

本市の財政は、空港関連税収を背景として全国有数の財政力を有し、各種財政指標から判断されるように財政の健全性が維持されています。市税収入が順調に回復するなど、長期化していた新型コロナウイルス感染症の影響を脱しつつあるものの、歳出面では、扶助費や公債費などの義務的経費や、公共施設の更新・長寿命化、さらには物価高騰に伴う影響など、多額の支出が見込まれることから、より一層の効率的な財政運営が求められています。

そのような中、今年度の予算編成では成田市総合計画「N A R I T A みらいプラン」に掲げた「住んでよし働いてよし訪れてよしの生涯を完結できる空の港まちなりた」の実現に向け、事業の選択と集中を行うことにより、子育て施策の一層の充実や新たなまちづくりに積極的に取り組むこととし、限られた財源を重点的かつ効率的に配分しました。

今年度の当初予算は、一般会計は647億円で、前年度と比較すると、23億円(3.7%)の増額。特別会計と水道事業会計などを合わせた予算総額は976億9,625万円となり、前年度より29億1,065万円(3.1%)の増額となっています。

## 一般会計歳入



# 647億円

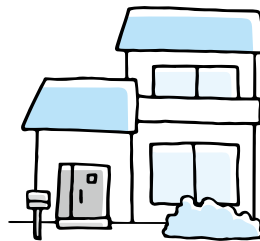
市税(全体の52.7%)は341億1,559万円で、前年度比12億1,106万円の増収となっています。また、国庫支出金(同11.3%)は72億7,506万円となり、5,104万円の減額。市債(同7.9%)は51億2,750万円で、13億2,880万円の増額となっています。

### 市民1人が納める市税は約26万円です

市民の皆さんが今年度に納める予定の市税の内訳は、右記の通りです。これを市民1人あたりに換算すると約26万円となります。

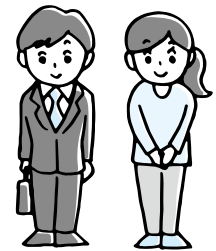
$$\frac{\text{市税予算額 } 341\text{億}1,559\text{万円}}{\text{令和5年2月末日現在人口 } 13\text{万}809\text{人}} = \text{約}26\text{万円}$$

## 市税の内訳



固定資産税

220億6,171万円



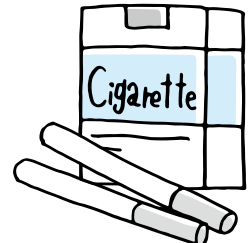
個人市民税

79億9,922万円



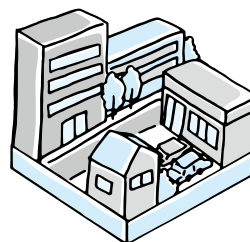
法人市民税

22億7,999万円



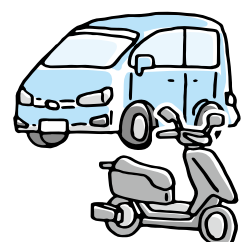
市たばこ税

11億7,968万円



都市計画税

2億1,644万円



その他(軽自動車税など)

3億7,855万円

## 特別会計

239億2,753万円

特別会計とは、特定事業を行う場合に、一般会計と区分して経理する必要のある時に設ける会計です。市では、次の6会計を設けています。

### 国民健康保険(事業勘定)

131億7,644万円

被保険者の疾病、負傷、出産、死亡などに対し、必要な保険給付を行います。

### 国民健康保険(施設勘定)

1億 953万円

医療サービスの向上を図るため、国保大栄診療所で被保険者などに対し、診療を行います。

### 公設地方卸売市場

8億4,215万円

青果物、水産物、生鮮食品などを安定した価格で供給し、市民生活の向

上を図ります。

### 介護保険

81億1,627万円

被保険者の要介護度などに応じて、必要な保険給付を行います。

### 農業集落排水事業

2億1,109万円

下総・大栄地区の農業集落に排水施設を整備し、生活環境の改善を図ります。

### 後期高齢者医療

14億7,206万円

後期高齢者医療制度加入者の保険料徴収や保険証の交付などを行います。

## 地方公営企業会計

90億6,872万円

地方公営企業会計とは、地方公共団体が経営する公益的な事業を行うために設けられた会計です。市では、次の3会計を設けています(各会計とも収

益的支出と資本的支出を合計した額)。

### 水道事業

32億4,915万円

水道施設を整備し、安全で安心な水の安定供給を行います。

### 簡易水道事業

7億 485万円

水道施設を整備し、下総・大栄地区の一部への安全で安心な水の安定供給を行います。

### 下水道事業

51億1,472万円

都市排水施設を整備を行い、生活環境の改善や公衆衛生の向上、浸水の防除を図ります。

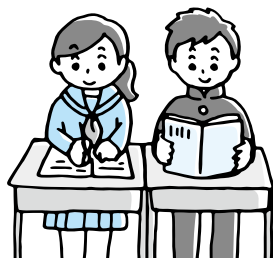


新鮮な食材が並ぶ成田市場

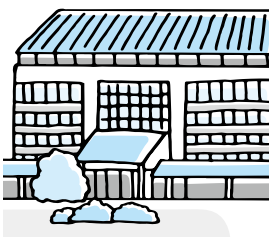
## 市民1人당りに使われる歳出の内訳



民生費 16.9万円



教育費 8.1万円



総務費 6.1万円



土木費 3.5万円

衛生費 5.1万円

公債費 4.3万円

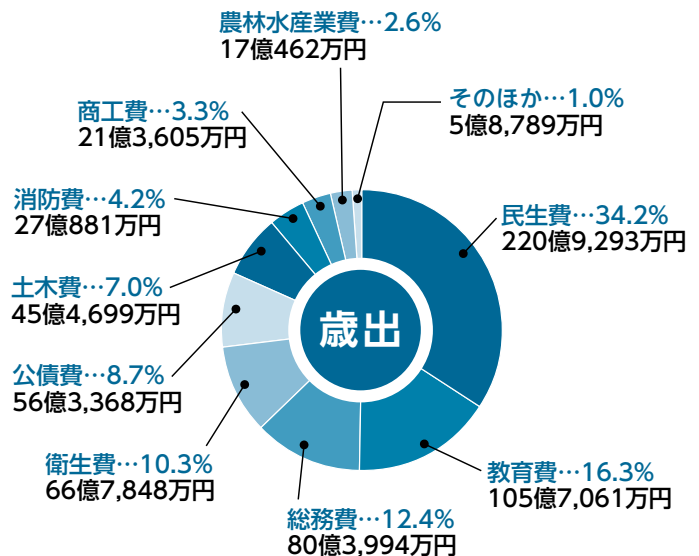
消防費 2.1万円

商工費 1.6万円

農林水産業費 1.3万円

そのほか 0.4万円

## 一般会計歳出



647億円

歳出の目的別分類では、民生費が前年度比10億9,117万円増の220億9,293万円(全体の34.2%)で最も多くなっていて、生活保護扶助費、私立保育園等運営委託事業、児童手当支給事業などに充てられます。2番目は教育費で、前年度比3億9,922万円増の105億7,061万円(16.3%)となっていて、小学校長寿命化改良事業、学校給食事業、東小学校跡地パークゴルフ場・複合施設整備事業などに充てられます。3番目は総務費で、前年度比5,618万円増の80億3,994万円(12.4%)となっていて、民家防音家屋等維持管理費補助事業、急傾斜地崩壊対策事業、電子自治体推進事業などに充てられます。

### 市民1人당りに約49万円が使われます

今年度、市民の皆さんに使われる予定の歳出の内訳は左記の通りです。市民1人당り約49万円となります。

$$\frac{\text{一般会計予算額 } 647\text{億円}}{\text{令和5年2月末日現在人口 } 13\text{万809人}} = \text{約49万円}$$